

第 9 回三木市デマンド型交通検討部会の開催について

本協議会の下部組織として設置している「三木市デマンド型交通検討部会」(平成 29 年 7 月 27 日設置)において、5 展開候補地区への区長協議会及び住民説明会での意見交換や各事業者との調整の結果を踏まえた上で、今後の方針について協議した。

1 開催日

令和 6 年 1 月 31 日(水) 午後 1 時 40 分～午後 3 時

2 地域及び地域ふれあいバス運行団体との意見交換について

(1) 地域ふれあいバスを運行している地区

地区名	意見概要
別所	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの高齢化や人手不足が深刻なため、地域ふれあいバスの運行継続は困難であり、デマンド型交通への転換を検討してほしい。
細川	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ふれあいバスは、スタッフ数が 10 人を下回ると、週 1 回以上運転に従事しなければならず、運行継続は困難となるが、現在は約 15 人が在籍していることから、まずはスタッフの拡充に取り組み、地域ふれあいバスの運行を継続したい。
口吉川	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの募集に努めたところ、若手スタッフも加入し、スタッフ数も増えてきたことから、地域ふれあいバスの運行を継続したい。 ・車両を更新するとともに、口吉川ふれあいバスでフレッシュバザール三木吉川店へ移動できるよう検討してほしい。

(2) 地域ふれあいバスを運行していない地域

地区名	意見概要
三木南	・ デマンド型交通を早期に導入してほしい。 ・ ただし、デマンド型交通の早期導入を求めるものの、これまで継続的に地域ふれあいバスの導入について検討してきた経緯を踏まえ、巡回バス（みきみなみバス）の試験運行は実施したい。
志 染	・ 他地区で運行している地域ふれあいバスのように地域で運転者を確保していくことは困難であり、デマンド型交通を早期に導入してほしい。

3 今後の進め方

意見交換の結果を踏まえ、「別所地区」「三木南地区」及び「志染地区」については、デマンド型交通導入の適性や運行サービス内容等について検討を進める。

また、「細川地区」及び「ロ吉川地区」については、地域ふれあいバスの運行を支援しつつ、スタッフの高齢化や人手不足などに留意しながら、デマンド型交通への転換を視野に入れた協議・調整を継続する。

4 今後の課題等

- (1) 吉川地区におけるデマンド型交通導入時と同様に、導入に当たっては、路線バスの見直しを実施し、デマンド型交通との役割分担の調整を図った上で、更なる利便性の向上と市の財政負担の軽減を実現できるよう検討する必要がある。
- (2) 広範囲でバス路線の見直しが必要となるため、利用者の日常生活に与える影響を考慮した上で、導入の適性や導入のスケジュール等を慎重に検討する必要がある。
- (3) バス事業者との調整のほか、場合によっては、地区ごとに別々の交通事業者がデマンド型交通の運行を担うことも想定されるため、タクシー事業者との十分な調整や、デマンド型交通の制度の全体的な検討が必要である。
- (4) 交通事業者における運転者不足が課題となる中で、運転者や車両の確保の見通しを立てた上で、効率的なデマンド型交通の運行体制や導入地区について検討する必要がある。

- (5) デマンド型交通の制度そのものや、導入時のメリット・デメリットなどについて、地域住民の理解が深まるよう十分な説明が必要である。